

竹原管内景況調査

9月の製造業は好転、非製造業は悪化

当会議所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、平成29年9月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

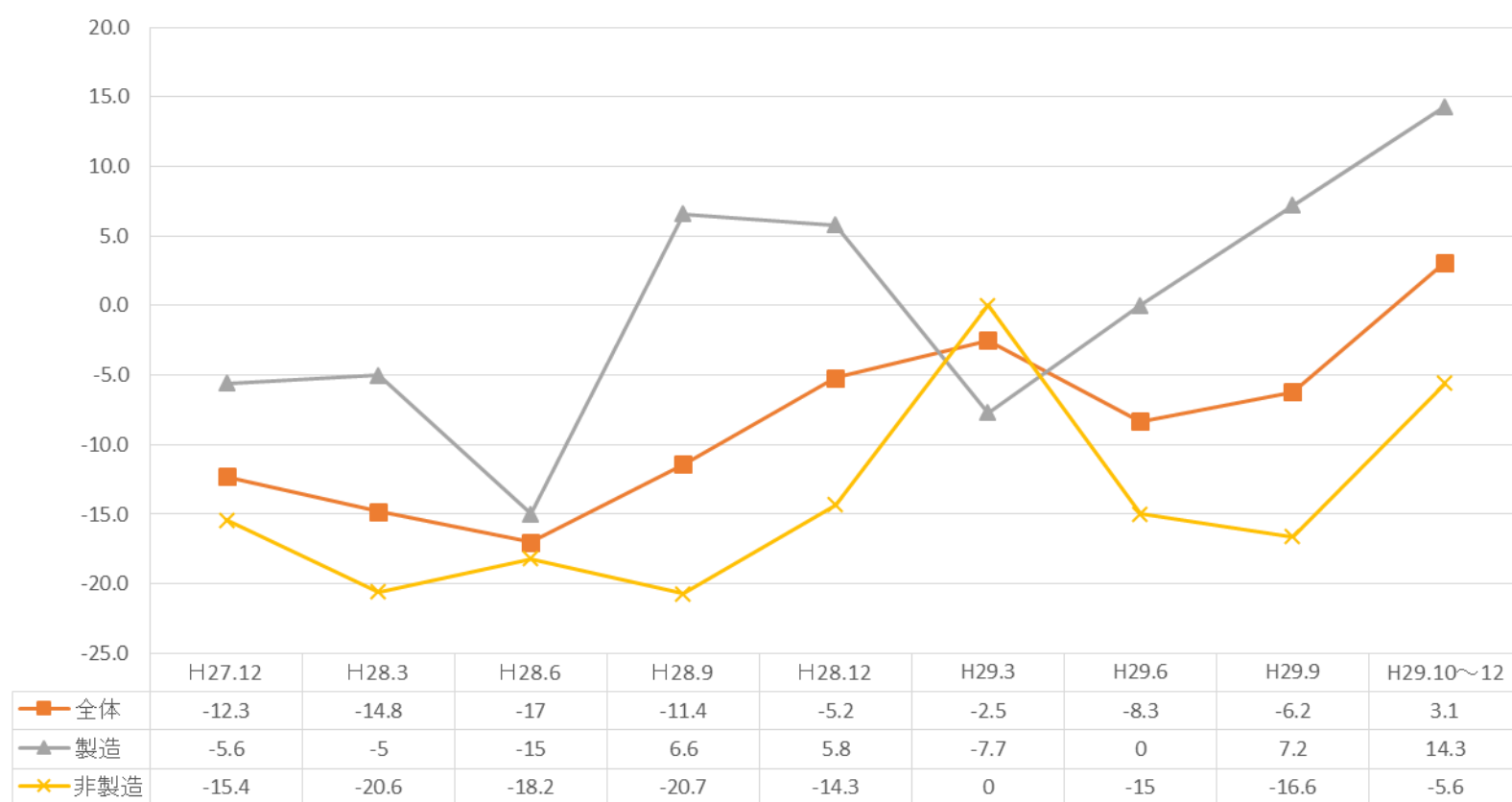
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
平成29年9月
【調査対象】
当商工会議所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	18	14
建設	6	3
小売	16	2
サービス	18	13
合計	58	32

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



9月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は、7.2ポイント好転しています。非製造業は1.6ポイント悪化しており、全体としては2.1ポイント好転しています。

9月と比べて10月~12月までの見通しは、全体では9.3ポイント好転しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

- ・海外の景況がやや好転しているが、国内需要はやや悪いため景況は変わらず。(製造業)
- ・市場環境は依然厳しい中、付加価値商品の育成、コスト改善の推進のため好転した。(製造業)
- ・社内改善で作業工程の見直しによる効率アップの為好転した(製造業)
- ・リピータ客が増え、認知度が上がったため好転した。(サービス業)
- ・常連客と復活リピーターが順調に増えているため好転した。(サービス業)

●平成29年度下半期の業況について

- ・大幅な増産になることはないが、安定した受注は見込める。(製造業)
- ・訪日外国人の増加、工事関係者の来店が見込まれる。(サービス業)
- ・輸入商品の仕入れ価格が上昇するが、他は例年通り。(小売業)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)